

平成30年 3月26日

1、本園の教育目標並びに保育の重点

<教育目標> ・意志の強い実行力のある子ども ・健康で明るい素直な子ども ・心が豊かで遊びのびと表現のできる子ども  <保育の重点> ・大勢の子どもたちの中から、気の合う友だちを見つけ、遊びを楽しむ。 ・異年齢の子どもたちとふれ合いの中で、優しい気持ちや思いやりの気持ちを育む。 ・様々な子どもたちとふれ合うことでトラブルもあるが、こうしたふれ合いの中で人とかかわり方をたくさん学んでいく。 ・様々な場で、思いの伝え合いを楽しむ。 ・お互い刺激し合いながら、いろいろなことに挑戦する。
--

2、本年度定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

・幼稚園教育要領を理解し、それに沿った保育をする。 ・一人一人の思いに共感し、安心して過ごすことができるように配慮する。
---

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理由
(1) 環境を通して行う教育・保育を基本とし、園児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活を展開するよう努めている。	B	学期後半になるにつれて友だちとの関わりが深まり、遊び込んでいる。複数担任制2年目になり、効果的なチーム保育を実践出来てきている。
(2) 一人一人の思いに共感し、安心して過ごすことができるように配慮している。	B	園児の思いを受け止めつつ、適切な指導を行う教師力が全体的に向上している。
(3) 特別に配慮を要する園児への対応に努めている。	A	個別計画の作成、保護者の相談、関係機関との連携に努めている。
(4) 様々な職員の立場で様々な角度から、園児の実態把握をすることができている。	A	プロとしての自覚を持ち、適切な把握に努めるとともに、職員間の話し合いを日々行っている。
(5) 保護者が安心して預けることができるように努めている。	B	安全管理には一層の努力を求める。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	プロとしての自覚を持ち、教育意欲をもって取り組んでいる。

5、今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
相互を高める研修の充実	中堅・新人教育の段階にあった研修機会の充実。 園内研究保育の継続。
自己を高める	教師同士で啓蒙しあい、他の教師の良いところに学び自分の指導力に活かす。

6、学校関係者評価委員会の評価

評価	氏名	印	評価	氏名	印
A	天笠 善照		A	天笠 善照	
A	天笠 善照		A	天笠 善照	
A	天笠 善照		A	天笠 善照	

7、設置者の評価

評価	氏名	印	コメント
B	天笠 善照		励まし合いながら切磋琢磨に努めている。

評価結果の表示方法  
 A: たいへんよい  
 B: よい  
 C: 一部検討を要する  
 D: 改善を要する